

大人のチカラ

31

～子どもたちの未来のために～

親の知識不足が ネットトラブルへ

メディアとの付き合い方①

今 や携帯電話はもろろんのこと、ゲーム機でさえインターネットができる時代。安易なネット上のやりとりからいじめや性犯罪へと発展するケースが増えています。だからこそ、親自身がネットのリスクと現状を知ることが大切なのです。

小6の5人に1人が 携帯電話を所有

県教委等の調査によると、県内の小6生の約19%、中3生の約37%、高3生の約98%が自分専用の携帯電話を所持しています。

しているという結果が出ています。

**自己紹介ページに
気軽に個人情報公開**

例えば、中高生を中心に人気の「プロフィールサイト」(プロフィール)。携帯サイト上などで自己紹介ページが作成できるサービスですが、素顔や本名、学校名など、詳しい個人情報を公開している子が少なくありません。公開された個人情報には不特定多数の目に触れますが、子どもたちはその認識が薄いよう。国内ではこんな事件も起きています。

【児童買春・児童ポルノ法違反(児童買春)被疑者(建設作業員・男・23歳)は、インターネットの自己紹介サイトに投稿されていた女子生徒(16歳)のプロフィール中のメー

ルアドレスにメールを送信し知り合い、現金を払う約束などをしてホテルでわいせつな行為をした。

県内で開設されたプロフィール多数あり、香川県も例外ではありません。全国的にもネット上のやりとりからいじめや援助交際へと発展した例も多いのです。



ルアドレスにメールを送信し「知った」。子どもがネット被害に遭ったら、それは子どもの責任でも学校の責任でもありません。買い与えて野放しにした親の責任です」と親の責任意識の薄さに警鐘を鳴らします。ネットトラブルは他人事と思わずに現状を知ること。親の知識不足が子どもを危険にさらしているのです。